



吉川小だより

2学期末号 令和4年12月23日 亀岡市立吉川小学校

E-mail:el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp

亀岡市教育委員会指定 魅力と特色ある学校づくり事業 全校わくわく大会の取組 子どもの居場所とふれ合いを



北風と寒さでポケットに手を入れたくなります。転んだ時に危険なので、「ポケットから手を出しや。」と声をかけています。手袋で温かさや安全も守れます。寒い日。手袋をして出かけたか見ていただくと安心です。

今年度の本校教育の特色の1つに「全校わくわく大会」があります。これは、コロナ感染症で制限されている学校生活を振り返り、子どもたちに必要な体験は何か職員で考え、子ども同士の「ふれ合い」を増やすことを目指したものです。1学期はストラックアウトとボッチャ、2学期はフローカーリングを取り上げ①教師の紹介②学年やなかよし班遊びなどでの体験③大会に向けた計画やルールの話し合い④チーム練習⑤全校わくわく大会という5つの過程を大切にしました。特に、③話し合い④チーム練習を児童の力で進めることで、全校わくわく大会のねらいの達成を目指しています。



フローカーリング



全校わくわく大会

活動を通じた成果として、友だちと一緒に過ごす「心の居場所」を児童が作り、温かい「ふれ合い」が生み出せています。また、高学年の児童から「みんなが楽しんでいたのでうれしい。」という感想がありました。声をかけたり、ルールを工夫したり、いろいろ大変だったはずの高学年。心の成長を感じる言葉です。

ガキ大将がいた昔。同じ遊び、年齢に応じたルールの違い、一人一人の役割や居場所などが、子ども同士の納得したきまりで守られていました。現代でも、誰でもいつでも仲間に入れて、子ども同士の納得したきまりに基づいた遊びが必要です。その中で約束を守ることや折り合う心、思いやる心などが育まれます。3学期も、子どもの心の居場所づくりとふれ合いが生まれる児童活動を進めてまいります。

80日間の2学期が今日で終わります。3年ぶりの運動会でPTAよりがんばり賞をいただいたこと、吉川小フェスティバルの合唱・合奏、山根先生の木琴演奏をみんなで聴き入ったことなど、つい数日前のように感じます。今学期の学校生活に子どもたちそれぞれに、いろいろな出来事がありました。本日お渡しした通知表は、一人一人のがんばりの記録です。ご家族でご覧いただき成長したことをたくさん褒めていただきますように、また、よりたくましく成長されるように、次に取り組むことも一緒に確かめ、これからの見守りと励ましをお願い致します。

保護者・地域の皆様のご支援のおかげで、2学期の教育活動を無事に終え、子どもたちにとって楽しく充実したものになりました。ありがとうございました。

校長 橋本 浩三

一皆様にとって、新年も幸多い年になりますよう、良いお年をお迎え下さい。一



QRコードから、本校のホームページにアクセスして下さい。
こちらからも学校だよりがご覧いただけます。

